

2017(平成29)年度

# 松山大学・カルスポ公開講座

## 「一般教養」

えひめ・創造都市の可能性を探る

受講案内



主催

公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団、松山大学



〒790-8578 松山市文京町4番地2 TEL089-925-7111 (代表)

<http://www.matsuyama-u.ac.jp/>

学び舎えひめ 悠々大学

# ご 案 内

## えひめ・創造都市の可能性を探る

すぐれたアートやデザインには、固定観念を覆し、新しいものの見方や考え方を提示したり、人と人とを共感によって結びつけたりする力があります。そうしたアートやデザインの力に注目が集まり、近年では、観光や産業振興、福祉など、まちづくりの様々な分野において、その力を借りる動きが出てきました。

欧米の都市においては、1980年代半ばごろより、芸術文化の創造性を活かした都市再生の取り組みが行われてきました。国際機関であるユネスコも、2004年に「創造都市ネットワーク」を創設しました。これは文学・映像・音楽・工芸・デザイン・メディアアート・食文化の7部門において、ユネスコが都市からの申請を受けて認定を行い、ネットワーク加盟都市間の主体的な交流を推進するものです。文化の多様性を守ると同時に、成熟型社会においては大きな成長が見込める文化産業を支援し、まちの活性化を図る狙いがあります。既に日本でも、神戸・名古屋(デザイン)・金沢・篠山(工芸)・鶴岡(食)・札幌(メディアアート)・浜松(音楽)が認定を受けています。

今回の講座では、ここ愛媛における創造都市誕生の可能性についても考えていきます。地域内外で表現・創造に携わる方々や、アート系 NPO やまちづくりの関係者、そして特に今年は正岡子規・夏目漱石・柳原極堂の生誕150周年という節目の年でもあることから、文学関係者の方々と、多彩なゲストをお迎えして、皆様をお待ちしています。

## 要 項

- 開 講 日 2017(平成29)年5月10日(水)～2017(平成29)年7月26日(水)  
全12回 (野外研修を除く)
- 場 所 松山大学樋又キャンパス2階 H2A 教室
- 時 間 18:30～20:00
- 定 員 150名(受講希望者多数の場合は抽選とします)
- 受 講 料 2,000円(初回講義の際にお持ちください) ※2,000円で12回の講座全てを受講できます。
- 対 象 者 松山市内に在住又は松山市内に勤務している人で18歳以上の方(学生は除く)
- 申 込 方 法 はがきに次の事項を記載し、下記までお申し込みください。  
①講座名(「松山大学・カルスポ公開講座：一般教養」とご記入ください)  
②氏名(ふりがな) **氏名のふりがなは必ずご記入ください。**  
③性別、生年月日(西暦表記)  
職業(a.公務員 b.会社員 c.自営業 d.主婦 e.アルバイト・パート f.契約社員(派遣・臨時含む) g.無職 h.その他) **記号のみでも可。**  
④自宅の郵便番号・住所・電話番号  
⑤勤務先名(ふりがな)・郵便番号・住所・電話番号  
(⑤は松山市外在住者のみ記入してください)
- 申 込 先 松山大学社会連携事務室「松山大学・カルスポ公開講座(一般教養)」係  
〒790-8578 松山市文京町4-2
- 申 込 締 切 2017(平成29)年4月21日(金)午後5時必着
- 修 了 証 所定の回数以上出席された方には修了証を発行します。
- 問 合 せ 先 松山大学社会連携事務室 藤岡・村井  
TEL(089)926-8246  
E-mail:mu-renkei@matsuyama-u.jp

※お申し込みいただいた方の個人情報は、本講座に関する連絡業務および今後の松山大学・カルスポ公開講座のご案内のみに利用させていただきます。



2016年度 講義の様様

本事業は公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団の委託事業として松山大学が実施しています。



本公開講座は愛媛県生涯学習センター「学び舎えひめ悠々大学」対象講座です。

# プログラム

学び舎えひめ 対象講座

回数	日程	担当講師	テーマ・内容
1	5月10日 (水)	松山大学法学部准教授 甲斐 朋香	<b>えひめ・創造都市の可能性を探る</b> 近年、国内外で、まちづくりや地域戦略の一環としてアートやデザインの視点を積極的に採り入れる動きがみられます。四国近隣県に比しても後れを取っていた愛媛県においても、行政主導で道後でのアートイベントが開催されるなど、アートやデザインへの関心が高まってきました。産業振興や観光にとどまらない、アートやデザインの社会的意義について考えてみましょう。
2	5月17日 (水)	スギウラ工房 杉浦 綾	<b>うつわを作るといこと</b> 愛媛の伝統工芸砥部焼を現代の形で表現する作家が「うつわ」を作ることを通して考える砥部焼の今とこれからをお話します。伝統工芸の産地ならではのエピソードや特産品である「砥部陶石」についてのお話を交えながら工芸の可能性を探っていく時間になりたいと考えています。
3	5月24日 (水)	NPO法人 コロティアンド コミュニケーションオペアーツ 理事長 徳永 高志	<b>アートフェスティバルの今</b> 2001年の横浜トリエンナーレ以来、各地で大規模アートプロジェクトが開かれています。昨年度だけでも、瀬戸内国際芸術祭、あいちトリエンナーレ、さいたまトリエンナーレ、岡山芸術交流など、100を超える芸術祭があり、松山市でも、道後アート2016「山口囃」が開かれました。これらのアートフェスティバルは、それぞれ異なる目的を持っています。アートフェスティバルが地域に果たす役割を考えたいと思います。
4	5月31日 (水)	石畳を思う会 副会長 寶泉 武徳	<b>花から団子へ 未来に希望をつないでいくために</b> 内子町石畳地区は、30年前から住民が主体となって景観保存を柱とした「村並み保存運動」で地域の魅力創出を行ってきました。今後は、地域資源や伝統文化を活かした経済を創出し、地域が未来に生き残るために新たな事業を展開しようとしています。これまでの活動を振り返りながら、現状と課題についてお話します。
5	6月7日 (水)	アーティスト、「ルーチェベルデ・ オープンスペース」オーナー 朝井 章夫	<b>アートと地方の関係について</b> 近年、町興しと現代アートを関連付けたイベントが目白押しの様子ですが、その中で開催された道後オンセナートは、果たして地元の表現者や住民にどのような影響を与えたのでしょうか。私のこれまでの作品や関わってきた展覧会の紹介を交えながら考えてみたいと思います。
6	6月14日 (水)	愛媛県立松山中央高等学校 英語指導助手 ステファニー・チャベス	<b>私がカナダで学んできた日本文学 -「百人一首」から「坊っちゃん」まで-</b> 私はこれまで、英語に翻訳された日本文学作品をたくさん読んできました。特に夏目漱石の作品は、私の生き方にも影響を与え、カナダ(トロント)から松山へ来るきっかけにもなりました。カナダ人として、私がこれまで日本文学に親しんできた経験についてお話したいと思います。講義はすべて英語で行います(通訳あり)。
7	6月21日 (水)	松山市立子規記念博物館 学芸員 西松 陽介	<b>松山の偉人 柳原極堂</b> 柳原極堂は松山出身の新聞記者・俳人で、近代俳句の父と呼ばれる正岡子規とは少年時代からの親友です。子規の俳句革新運動を支え、子規が亡くなった後には、松山で子規の顕彰活動に力を尽くし、子規の功績を広く世に伝えました。昭和32年には、地方文化の向上などに貢献した功績により松山市初の名誉市民にも選ばれています。本講義では、柳原極堂の生涯を正岡子規との関わりを中心にお話します。
8	6月28日 (水)	NPO法人 俳句甲子園実行委員会 会長 日野 裕士	<b>20周年!まつやま俳句甲子園</b> 今年で20回という節目を迎える俳句甲子園。紆余曲折を経て、今では全国的に認知されるイベントとなりました。俳句を愛する高校生のためのこの大会を、ボランティアや協賛者として支えるオトナたちのエピソードなども交えつつ、俳句を通じた「教育」「まちおこし」など、大会に秘められている可能性についてもお話します。
9	7月5日 (水)	デザイナー 荒木 宏介	<b>寒天とデザインと未来 -伝統的な素材をどのように新たな文脈でデザインするか-</b> 2016年にレクサスが主宰する国際デザインコンペティションLexus Design Award2016において1300点を超える応募作品の中からグランプリを受賞した寒天を用いた梱包材の提案について、その発想の原点や実験のプロセス、今後の可能性を中心にお話しいたします。またその他にも天然素材を用いたプロジェクトについて合わせてご紹介できればと思います。
10	7月12日 (水)	シアターねこ 代表社員 鈴木 美恵子	<b>地域での劇場の役割</b> 愛媛の文化芸術振興を目指す「NPO法人シアターネットワークえひめ」設立とその後「シアターねこ」を設立した経緯と試行錯誤を続ける現在から見えてくるアカルイミライ。
11	7月19日 (水)	NPO法人 シアターネットワークえひめ 理事 郡司島 宏美	<b>アートはまちを元気にする?</b> 今、どのまちも暮らしやすいまち、訪れたいまちを目指して、地域の個性を追求しています。個性は、その地域の歴史文化はもちろん、今その地で暮らす人々の活動にもあります。「まちの創造性」とは、ひとり一人の多様で自由な発想による表現活動です。それが出会い、連なり、重なり合って、まちを元気にします。創造都市を生み出す人々の出会いの場を中心に、人が創造性を発揮できるまちの在り方を皆さんと考えたいと思います。
12	7月26日 (水)	ミュージシャン 岡 淳	<b>夢を回せ!夢をならせ!音楽水車</b> 僕はジャズ・ミュージシャン。サクソフーン・フルート・篠笛を吹き、ユニット“Saxophobia” “punch!”「しげちゃん一座」などで東京を拠点に全国をライブ行脚中。中でも“Dream Kids”や“Jazz for Tohoku”など、東北とは深い縁があります。そして近年、ライフワークと化しつつあるのが「音楽水車プロジェクト」。音楽水車でナニ?その活動は何をもたらしたか?活動を通じて出会った魅惑的なイナカビトたちのお話もお楽しみに!
野外 研修	7月8日 (土)	松山大学法学部准教授 甲斐 朋香	<b>貸切バスにて野外研修 ※自由参加</b> 日帰りの野外研修を予定しています。 詳細は、初回講義にてお知らせします。 ※参加は自由ですが、6,000円程度の参加費が必要です。

## ■受講されるみなさんへ

### <教室のご案内>

松山大学樋又キャンパス 2階 H2A教室ほか

\*教室を変更する際は、前回の講義時、あるいは当日掲示にてお知らせします。

なお、当日教室の分からない方は、正門・西門・樋又キャンパスの守衛室へお問い合わせください。

### <駐車場のご案内>

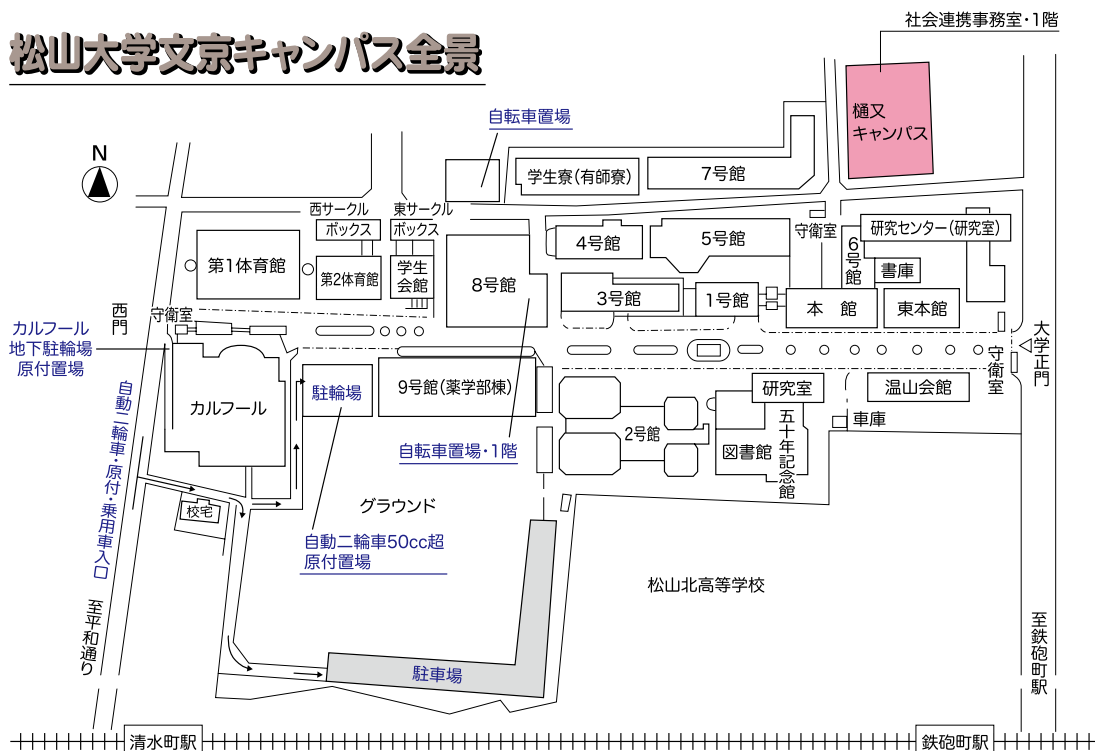
学内の駐車スペースには限りがあります。原則として公共交通機関をご利用ください。遠隔地、時間の関係で公共交通機関が利用できなくなる方、その他特別の事情がある方で、駐車を許可された方以外は学内に駐車できませんのであらかじめご了承ください。自転車・バイクをご利用の方は、所定の場所に駐輪してください。遵守できない方は乗り入れをお断りすることがあります。

\*学内への駐車を希望される方は、第1回講義(5月10日)時に「学内自動車乗り入れ許可申請」を行ってください。許可者には「学内自動車乗り入れ許可証」を交付いたします。

### <講義開始時間>

講義は午後6時30分から始まります。時間厳守でお願いします。

## 松山大学文京キャンパス全景



伊予鉄市内電車環状線「清水町駅」または「鉄砲町駅」下車徒歩 5 分